

美術科学習指導案（略案）

令和2年12月18日金曜日3, 4校時 場所：中学部作業室

中学部 男子10名 女子3名 計13名

指導者 CT：上地真 ST：富木百合香 黒島昌樹 平安名栄樹

【育てたい資質・能力】

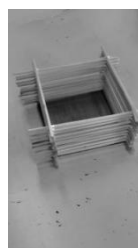
素材の特徴を知り、木片による立体表現の多様性を広げる。

【育っている資質・能力】

素材や用具に基づいた制作手順を大まかに理解している。

1. 単元名「割りばし細工」

作品参考例



単元の観点別目標

(1) 【知識・技能】

- ・（準備、片付けができる。説明に注視する。）
- ・使用する用具、材料等の名称を把握することができる。
- ・ボンドや絵具等の素材を適切に使用することができる。

(2) 【思考・判断・表現】

- ・（必要に応じて質問できる。）
- ・割りばしを自由に組み立てることができる。（1～3時）
- ・絵具（色彩）を自由に選択し塗ることができる。（4時）

(3) 【主体的に学習に取り組む態度】

- ・促されることなく制作に取り組むことができる。
- ・（他者の作品を見て、自己の作品に工夫をすることができる。－確認できなくても可－）
- ・（以前に見られなかった新しい表現が見られる。－確認できなくても可－）

3. 学習計画と評価計画

次	時	主な学習活動	評価の観点		
			知・技	思・判・表	主体的
一	1	・ボンドを使用した、割りばしの組み立て	◎	○	
	2	・ボンドを使用した、割りばしの組み立て		◎	◎
	3	・自己と他者の作品を比較（鑑賞）し工夫を試みる		◎	◎
	4 本時	・不透明水彩絵の具を使用した、着色 （混色はなくても構わないものとする） ・自己と他者の作品を比較（鑑賞）し工夫を試みる	◎	◎	◎

4. 単元の個別目標

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	素材の特徴を大まかに理解する。	教師からの制作上のアドバイスを取り入れることができる。	時間内は集中して学習に取り組むことができる。
B			
C	ボンドや絵具等の素材を適切に使用することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・割りばしを自由に組み立てることができる。 ・絵具（色彩）を自由に選択し塗ることができる。 	促されることなく制作に取り組むことができる。
D			
E			
F			
G			
H	言葉かけや指差しの指示で用具や材料を把握する。	教師の指示を理解する。	教師と共に制作に取り組む。
I	ボンドや絵具等の素材を適切に使用することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・割りばしを自由に組み立てることができる。 ・絵具（色彩）を自由に選択し塗ることができる。 	促されることなく制作に取り組むことができる。
J			
K			
L	素材の特徴を大まかに理解する。	組木や彩色の構成を教師と共に考える。	時間内は集中して学習に取り組むことができる。
M	ボンドや絵具等の素材を適切に使用することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・割りばしを自由に組み立てることができる。 ・絵具（色彩）を自由に選択し塗ることができる。 	促されることなく制作に取り組むことができる。

作品参考例



組木も彩色も自由に構成
(組木の仕組みをよく理解してる)



高さに挑戦
(手本を基に組み上げられた)



まずは素材の特徴の理解から
(教師と共に組木の練習)

5. 本時の学習 (4/4)

(1) 本時の目標

- ・不透明水彩絵の具を使用し、色彩を自由に選択して着色ができる。

【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】

(2) 本時の展開

	学習活動	評価の観点	指導・支援策 配慮事項	備考
導入 10	<ul style="list-style-type: none"> ・初めのあいさつ ・作品(制作)の振り返り ・本時の活動の説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・【知】 振り返りや説明に注視しているか ・【知】 活動内容を理解し、見通しが持てるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒個々に注視を促す ・素材、用具の名称、用法の説明 ・準備物の説明 ・制作手順の説明 <p>下敷き用の紙の配布 (新聞紙 or 白紙)</p>	<p>準備物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・筆 ・パレット ・筆洗 ・絵具
展開 75	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な用具や材料の準備 ・制作 <p>(休憩)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具等の片付け 	<ul style="list-style-type: none"> ・【知】【思】 (準備ができる) ・【知】【思】 自由な発想で考え制作ができる ・【判】 必要に応じて質問できる 教師の問いかけに答えることができる ・【主】 (他者の作品の鑑賞ができる) ・【主】 (表現に新たな工夫が見られる) ・【知】【思】 (片付けができる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵具の量の調整の指導 ・必要に応じて混色のアドバイス ・制作途中における、筆や筆洗、パレットの洗浄の必要性の生徒への確認 ・休憩時間に入る時に他者の作品の鑑賞を促す 	
まとめ 15	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の講評 ・次時の伝達 ・終わりのあいさつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・【知】【思】 講評に注視しているか 自分の良い点を確認できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫、難しかった点の確認(質問) & アドバイス (よくできた点を伝える) 	

